

# JPEC BULLETIN

## 研修センター ニュース

Oct. 2020

編集・発行

公益財団法人

日本薬剤師研修センター

東京都港区赤坂1-9-13

三会堂ビル5F TEL 03-3568-8201

電話 (03)3568-8201

FAX (03)3568-0821

URL <http://www.jpec.or.jp/>

製作 (株)薬事日報社

### 令和の時代と未来に向けて

厚生労働省大臣官房審議官（医薬担当） 山本 史

○ 本年1月に厚生労働省大臣官房審議官（医薬担当）を拝命しました山本史です。

着任直後から、新型コロナウイルス感染症というこれまでにない事態に直面しています。薬剤師の皆様におかれましては、医療現場の最前線で感染拡大防止に取り組みながら、患者に必要な薬物治療を提供し続けています。地域住民に対して手洗いや消毒剤の使用方法など感染症対策の相談等にも応じていることに対して感謝申し上げます。

▲ このような未曾有の事態への対応のほか、近年の新薬の開発や医療技術の進歩等に伴い医療を取り巻く環境が日々変化していく中で、薬剤師として安全で有効な薬物療法を提供するためには、このような変化に臨機応変に対応できるよう自己研鑽に取り組むことが必要です。

○ 令和元年12月に公布された改正医薬品医療機器等法では、優れた医薬品をより安全・迅速に医療現場に提供するための承認審査制度等を改善するとともに、住み慣れた地域で患者が安心して医薬品を使うことができるようとするための薬剤師・薬局の機能の強化を行いました。

○ このような改正により、画期的な医薬品や医療上の必要性が高い医薬品が速やかに医療現場で用いられるようになることが期待されますが、どんなに優れた医薬品でも、それぞれの患者に合わせて使われなければ十分な効果は発揮できません。つまり、日々患者に向き合って業務を行う薬剤師の役割が非常に重要になるということを意味しています。法改正により、本年9月から薬剤師が調剤時に限らず必要に応じ、患者に対して服薬状況の把握や継続的な服薬指導を行うことや、一定の条件下でオンライン服薬指導が可能になりましたが、薬剤師は個々の患者の状況に応じた対応が求められます。

今回の法改正で制度的な枠組みの整備が進みますが、重要なのは、このような改正をきっかけにどのように取り組んでいくかであり、現場の薬剤師の皆様方の努力が不可欠です。そのためには現場での経験のほかに、先ほど申し上げたような自己研鑽により、情報をアップデートしていくことが必要です。

このような薬剤師であれば、患者や地域住民に寄り添った対応が可能となり、信頼される薬剤師になっていくものと期待します。令和の時代の薬剤師の姿を皆さんで作っていきましょう。

### 今月の主な記事

#### 卷頭

・令和の時代と未来に向けて 1

#### センター主催研修会

・e-ラーニングのご案内 2

#### 事業報告等

・令和元年度事業報告 4

・令和元年度事業報告附属明細書 7

## e-ラーニングのご案内

下記、当財団主催研修会が、e-ラーニングで研修できます（申込受付期限は、全て2021年3月15日までです。※漢方薬・生薬薬剤師講座は除く）。受講のお申込は、当財団ホームページ上の「薬剤師研修支援システム」からとなります。

詳細は、当財団ホームページに掲載していますので、そちらをご確認の上、お申込下さい（定員のあるものは、定員になり次第、受付締切となります）。

なお、研修会によっては、継続的に受講申込を受け付けています。研修会名称・収録日が同じものは、同一の研修会ですのでご注意下さい。

### <薬剤師が知っておきたいバイオ医薬品の基礎知識>

薬剤師が知っておきたいバイオ医薬品の基礎知識（収録日：令和2年1月27日）

### <医薬品の適正使用のための情報の収集・評価、共有化に関する研修会>

医薬品の適正使用のための情報の収集・評価、共有化に関する研修会－薬物治療における安全管理のために－（収録日：平成30年9月30日）

### <病態と薬理を理解して薬学的ケアを実践する研修会（病態・薬理シリーズ）>

国際感染症Ⅰ－国際感染症の現状と耐性菌への対処－（収録日：平成30年11月4日）

国際感染症Ⅱ－感染症の国際化に対する対応－（収録日：令和元年10月27日）

乳がん（収録日：平成28年6月26日）

前立腺がん（収録日：平成29年8月20日）

肺がん（収録日：平成30年6月24日）

血液がん（収録日：令和元年7月21日）

### <認定実務実習指導薬剤師 更新講習（講座④）>

【注意】 この講習の受講対象者は、認定実務実習指導薬剤師の認定を取得してから5年以上が経過し、認定実務実習指導薬剤師の更新申請を予定している方です。

（認定実務実習指導薬剤師更新講習会は、研修認定薬剤師制度の受講単位は取得できません）

【更新講習】2020年度 認定実務実習指導薬剤師 更新講習（講座④）

### 研修認定薬剤師制度認定対象研修会（集合研修）

10月・11月の認定対象研修会をご案内いたします。これらの研修会の認証番号はG01です。

研修会によっては、参加資格、参加費用が必要な場合、定員により受講申込を締め切っている場合等がありますので、それぞれの連絡先にご確認の上、ご参加下さい。一覧表で研修会名称の前に「」のついている研修会に参加し修得した単位は、「漢方薬・生薬認定薬剤師更新のための単位」として、「」のついている研修会に参加し修得した単位は、「小児薬物療法認定薬剤師更新のための単位」としてもご利用できます。なお、直近の情報については、当財団ホームページでご案内しておりますので、併せてご活用下さい（情報が変更になっている場合もありますので、ご注意下さい）。

開催日	研修会名称／研修会内容	主催者 連絡先	開催場所	単位
<b>関東・甲信越地区（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、新潟、長野）</b>				
10/17(土) ～ 10/18(日)	オーソモレキュラー医学会 第2回 総会 ひろがる栄養医療の可能性	特定非営利活動法人 NHPインターナショナル認定機構 info@e-msa.co.jp (メディカルサブリメントアドバイザー事務局 鈴木)	大手町三井ホール (東京都)	6
10/22(木)	ワンランク上の薬剤師を目指すオンライン研修会 新型コロナウイルスの真実	一般社団法人 浅草薬剤師会 asayaku@gmail.com (坂口)	一般社団法人 浅草薬剤師会 事務所 (東京都)	1
10/25(日)	緊急避妊ピルコンシェルジェ薬剤師養成セミナー 緊急避妊薬を巡る最新情報～実践編～ 他	NPO法人 HAP asakusao@hap-fw.org (事務局 宮原)	ケイ薬局 (東京都)	2
11/10(火)	ワンランク上の薬剤師を目指すオンライン研修会 誰も教えてくれなかった実践薬歴講座	一般社団法人 浅草薬剤師会 asayaku@gmail.com (坂口)	一般社団法人 浅草薬剤師会 事務所 (東京都)	1
11/17(火)	第150回 葛飾区薬剤師会夜間講座 最新の胃癌化学療法 最近のトピックスから 他	一般社団法人 葛飾区薬剤師会 03-3826-1881 (薬局モリファーマシー 森)	かつしかシンドニーヒルズ別館 5階 レインボー (東京都)	1
<b>東海・北陸地区（静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井）</b>				
10/11(日)	第47期 東海漢方入門講座 10月例会 漢方概論、漢方の歴史 他	東海漢方協議会 052-722-2205 (東海漢方協議会事務局 古橋)	名古屋市立大学 (愛知県)	3
11/8(日)	第47期 東海漢方入門講座 11月例会 誰にも分かる漢方基礎「陰陽虚熱寒熱」 他	東海漢方協議会 052-722-2205 (東海漢方協議会事務局 古橋)	名古屋市立大学 (愛知県)	3
11/29(日)	第77回 医療薬学公開シンポジウム イン岐阜 薬学が真に医療に貢献するということ 他	一般社団法人 日本医療薬学会 058-230-8118 (岐阜薬科大学薬物動態学研究室 北市)	じゅうろくプラザ (岐阜県)	2
<b>中国・四国地区（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）</b>				
10/6(火)	シリーズ研修会2020 気分の落ち込みに繋がる認知バイアス	一般社団法人 福山市薬剤師会 084-926-0588 (寺田)	学校法人 福山大学 社会連携推進センター (広島県)	1
10/20(火)	シリーズ研修会2020 対人関係での誤解や敵意に繋がる認知バイアス	一般社団法人 福山市薬剤師会 084-926-0588 (寺田)	学校法人 福山大学 社会連携推進センター (広島県)	1
<b>九州地区（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）</b>				
10/30(金)	筑後医科歯科薬科合同セミナー 骨粗鬆症治療における顎骨壊死 up to date	一般社団法人 久留米三井薬剤師会 0942-36-7790 (牟田)	久留米シティプラザ ザ・グランドホール (福岡県)	1

## ▷ 令和元年度事業報告

### I 研修・認定関係

#### 1 各認定薬剤師の認定状況

国民の健康に寄与するため、薬剤師が生涯にわたり研修を続け医療専門職としての職能を維持向上させていくことが重要である。公益財団法人日本薬剤師研修センター（以下「研修センター」という。）は、薬剤師の研修に対するモチベーションが維持でき、かつ国民にわかりやすい認定制度の運営に努めた。

##### 1) 研修認定薬剤師

あらゆる職域における薬剤師の自己研鑽活動を支援するため、個々の薬剤師の研修実績を認定するものである。

令和元年度の認定薬剤師証交付数は51,034（昨年度24,351）で、令和2年3月31日現在の認定者数は108,622名となっている。

また、第4回薬剤師生涯学習達成度確認試験を令和元年7月28日に実施した。生涯学習は、自己評価をしながら、さらに必要な学習に取り組むものであるが、この試験は薬剤師の業務が多様化・高度化する中で外部評価を受けたいと考える薬剤師に対応するものである。第4回薬剤師生涯学習達成度確認試験は全国7会場で行い、受験者は93名、合格者は33名（合格率35%）であった。

##### 2) 漢方薬・生薬認定薬剤師

研修センターと日本生薬学会とが共同で、漢方薬・生薬に関する専門的知識を修得し、能力と適性を備えた薬剤師を認定するものである。

令和元年度の漢方薬・生薬認定薬剤師証交付数は1,332で、令和2年3月31日現在の漢方薬・生薬認定薬剤師数は3,625名となっている。

##### 3) 小児薬物療法認定薬剤師

研修センターと日本小児臨床薬理学会とが共同で、小児科領域において医薬品に関わる専門的立場から医療チームの一員として小児薬物療法に参画するための能力と適性を備え、さらに患児とその保護者等に対しても適切な助言及び行動ができる薬剤師を養成し、認定するものである。

令和元年度の小児薬物療法認定薬剤師証交付数は

311で、令和2年3月31日現在の小児薬物療法認定薬剤師数は814名となっている。

##### 4) 認定実務実習指導薬剤師

六年制薬学教育における実務実習の指導に当たる実務薬剤師を認定するもので、平成17年度に厚生労働省補助事業として発足した。平成22年度からは研修センターの事業として引き継いでいる。

令和元年度の認定証交付数は、1,866（病院薬剤師648、薬局薬剤師1,218）で、令和2年3月31日現在の認定実務実習指導薬剤師数は、26,396名（病院薬剤師9,063名、薬局薬剤師17,333名）となっている。

平成27年5月から6年間の認定期限終了者に対する更新認定を開始している。令和元年度の更新認定証交付数は1,279である。

### 2 研修会実施機関の登録と単位の交付

#### 1) 研修会実施機関

集合研修、実習研修、通信講座、インターネット研修など、研修センターの研修単位交付対象の研修会を計画・実施する機関（団体等）を研修会実施機関として登録している。都道府県研修協議会、都道府県の薬剤師会・病院薬剤師会・各支部、薬学系大学、医学薬学関連学会などで、その数は令和2年3月31日現在、1,604機関（団体等）である。

#### 2) 研修単位の交付状況等

令和元年度の研修単位交付対象となる集合研修会の開催件数は、研修センターが実施するものを含めて15,010件である。

研修会のほか、自己の研修計画作成のための指標項目・評価表を開発し、各研修会実施機関に配布することにより、薬剤師各自に自己研修、グループ研修を促している。なお、指標項目については、平成29年度に改定作業を行い、「生涯学習自己診断表（薬剤師生涯研修の指標項目）」として、認定申請の際に提出を求めるとした。令和元年度からは、認定申請時の提出を必須としている。

### 3 研修会の開催

研修会は、①座学研修、②DVD集合研修、③e-ラーニング（VOD配信（Video on Demand）及びストリーミング型）及び④実習・見学の方法で実施した。

#### 1) 病態・薬理シリーズ研修

医療薬学の最近の進歩にあわせ、疾患の病態については専門の医師が、疾患の薬物療法の実際については専門の薬剤師が、各々講義することを基本に組み立てた研修会で、令和元年度の座学研修は、①血液がん及び②国際感染症Ⅱの2領域を東京会場及び大阪会場で合計4回開催し、合わせて582名が参加した。このうち、血液がんの研修会の開催に当たっては、一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会の協力を得ている。なお、この収録DVDはe-ラーニングに供した。また、既収録DVDを用いてe-ラーニングを行った。

#### 2) 1日薬局・病院実務研修

研修受入施設として令和2年3月31日現在、病院116施設、薬局60施設が登録されている。令和元年度の参加者は1名であった。

#### 3) 企業薬剤師対象研修会

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）との共催で、①医薬品承認申請実務担当者研修会、②GLP研修会及び③GCP/GPSP研修会を東京及び大阪の2か所で各1回開催した。参加者数は、それぞれ876名、584名、1,145名であった。

#### 4) 漢方薬・生薬領域の研修会

##### (1) 認定取得のための講義研修

一般社団法人日本生薬学会と共に、漢方薬・生薬認定薬剤師の認定を取得するために必要な47コマ（1コマ70分）の講義（令和元年度講義）を東京（慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパス）で実施した。その後、その収録DVDを用いてDVD集合研修（東京、大阪及び福岡）を行った。参加者数は、座学が113名、DVDが3会場で合計78名であった。また、ストリーミング型e-ラーニングを、令和元年7月から令和2年3月まで実施し、参加者数は501名であった。

##### (2) 薬用植物園実習

認定取得又は更新の目的のために、薬用植物園実習を全国約50施設で実施した。参加者数は約800名であった。

##### (3) 認定更新のための研修

平成30年度の漢方薬・生薬研修会を認定更新者用にアレンジした講座を、ストリーミング型e-ラーニングに供し、参加者数は856名であった。

#### 5) 小児薬物療法認定薬剤師に係る研修会

##### (1) 小児薬物療法研修

収録及び配信をラジオNIKKEIに委託し、e-ラーニングによる研修を実施した（令和元年5月から12月まで）。配信数は36コマ（1コマ約1時間）で、参加者数は216名であった。

##### (2) 1日実務研修

認定要件である1日実務研修を全国23施設で実施し、175名が修了した。

#### 6) 認定実務実習指導薬剤師に係る研修会

認定実務実習指導薬剤師養成講習会を、都道府県薬剤師会、都道府県病院薬剤師会、薬学教育協議会等が実施機関となり、307件（講座①、②、③及び④の合計）実施した。

#### 7) その他の研修会（健康サポート薬局研修）

公益社団法人日本薬剤師会と共同で健康サポート薬局研修に係る研修会を実施した。令和元年度の研修修了証発行数は、3,982であった。

### 4 委員会等の開催

各認定制度の円滑な運営を協議するため、研修認定期委員会（1回）、漢方薬・生薬研修委員会（2回）、小児薬物療法研修委員会（1回）、同試験問題作成委員会（2回）及び認定実務実習指導薬剤師認定委員会（1回）を開催した。

また、薬剤師生涯学習達成度確認試験の実施のため、薬剤師生涯学習達成度確認試験運営協議会（1回）及び同実務委員会（2回）を開催した。

### 5 広報

研修センターの広報は、①インターネットホームページ及び②毎月発行する「研修センターニュース」が主要な媒体であり、令和元年度も、その充実に努めた。

その他、日本薬剤師会雑誌など、薬剤師の購読が多い雑誌に研修会の案内等を掲載し、広報に努めている。

### II 出版・監修関係

#### 1 研修手帳の作成、頒布

研修手帳は、認定を目指す薬剤師が、取得した研修単

位を記録・管理するものである。全国の薬科大学・薬学部に対しては、新卒者に贈呈するため、毎年、人數分の研修手帳を無償贈与している。有償、無償を合わせて、令和元年度の研修手帳頒布数は、65,295冊であった。

## 2 病態・薬理シリーズテキストの頒布

研修センターが行った「病態・薬理シリーズ研修会」のテキストを販売した。

## 3 薬剤師研修に役立つ書籍の編集

薬剤師の研修に役立つ書籍を、出版社と協力して編集・発行しており、令和元年度は次の書籍を編集した。

医薬品承認申請ガイドブック2019-2020（薬事日報社発行）

医薬品・医療機器・再生医療等製品GLPガイドブック2019（薬事日報社発行）

医薬品・医療機器・再生医療等製品GCP/GPSPガイドブック2019（薬事日報社発行）

なお、第十七改正日本薬局方医薬品情報 JP DI 2016（じほう発行）は、平成28年度に編集・発行したものであるが、第4刷及び第5刷が発行された。

## 4 受託作成事業及び特別賛助会員が実施する研修会

両者とも、令和元年度の申込みはなかった。

## III 法人関係

### 1 理事会、評議員会等

令和元年6月6日(木)に令和元年度第1回理事会を開催し、平成30年度事業報告、平成30年度決算などを審議した。また、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告などを行った。

令和元年6月25日(火)に令和元年度第1回評議員会を開催し、平成30年度決算、定款の一部改正、理事及び監事の選任などを審議した。また、平成30年度事業報告が報告された。

令和元年6月に、決議の省略の方式による臨時理事会を開催し、代表理事（理事長及び副理事長）の選定、業務執行理事の選定、委員会設置規程の制定などを行った。

令和2年1月に、決議の省略の方式による臨時理事会を開催し、認証更新申請書を公益社団法人薬剤師認定制度認証機構に提出することを承認した。

令和2年3月17日(火)に令和元年度第2回理事会を開催し、令和2年度事業計画、令和2年度収支予算、特定費用準備資金の新たな設定などを審議した。また、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告などを行った。

## 2 賛助会員

令和2年3月31日現在の賛助会員の状況は、賛助会員（個人）385名、特別賛助会員（企業等）34社（団体）である。

## 3 創立30周年記念誌の送付

刊行した創立三十周年記念誌を関係者に送付した。

## 4 研修受講シールの不正行為の防止措置

研修受講シールが不正に売買されているとの報道があったことから、不正行為の防止のため、研修受講シールの様式の変更、交付の際の本人確認の徹底、研修受講者名簿の作成・提出などの方策を講じた。この防止措置の周知を図るため、薬剤師研修協議会連絡会を令和元年5月27日(月)に、他の薬剤師認定制度実施機関への説明会を令和元年5月15日(水)に、それぞれ開催した。

新たな方式による研修受講シールの交付は、平成元年7月1日以降に開催される研修会等から適用され、不正行為の防止に資するものとなっている。

## 5 業務の電子化

業務を効率的に行うとともに、研修受講者、認定申請者及び研修会実施機関の利便性の向上を図るために、薬剤師研修・認定電子システムを構築することとした。令和元年度はシステム設計会社を選定し、構築に向けての検討を開始した。このシステムは、研修認定薬剤師制度、漢方薬・生薬認定薬剤師制度、小児薬物療法認定薬剤師制度及び認定実務実習指導薬剤師認定制度を包括することを予定している。

## 令和元年度事業報告附属明細書

( ) 内の数字は平成30年度

## I 研修・認定関係

## 1 各認定薬剤師の認定状況

## (1) 研修認定薬剤師

令和元年度認定薬剤師証交付数	51,034名 (24,351名)
うち初回認定者	11,452名 (11,466名)
うち更新者	39,582名 (12,885名)
令和2年3月31日現在の研修認定薬剤師総数	108,622名
(平成6年度からの初回認定の累計	154,398名)
第4回薬剤師生涯学習達成度確認試験	
[会場：札幌市、仙台市、東京都品川区、名古屋市、大阪府豊中市、岡山市及び福岡市]	
受験者数	93名 ( 117名)
合格者数	33名 ( 42名)

## (2) 漢方薬・生薬認定薬剤師

令和元年度漢方薬・生薬認定薬剤師証交付数	1,332名 ( 1,175名)
うち初回認定者	512名 ( 483名)
うち更新者	820名 ( 692名)
令和2年3月31日現在の漢方薬・生薬認定薬剤師総数	3,625名
(平成13年度からの初回認定の累計	7,244名)

## (3) 小児薬物療法認定薬剤師

令和元年度小児薬物療法認定薬剤師証交付数	311名 ( 266名)
うち初回認定者	164名 ( 204名)
うち更新者	147名 ( 62名)
令和2年3月31日現在の小児薬物療法認定薬剤師総数	814名

## (4) 認定実務実習指導薬剤師

令和元年度認定実務実習指導薬剤師証交付数	1,866名 ( 1,605名)
うち病院薬剤師	648名 ( 572名)
うち薬局薬剤師	1,218名 ( 1,033名)
令和元年度認定実務実習指導薬剤師更新認定証交付数	1,279名 ( 1,483名)
令和2年3月31日現在の認定実務実習指導薬剤師総数	26,396名
うち病院薬剤師	9,063名
うち薬局薬剤師	17,333名

## 2 研修実施機関の登録と単位の交付

## (1) 研修実施機関

令和2年3月31日現在の登録研修実施機関数	1,604 ( 2,044 )
-----------------------	-----------------

## (2) 研修会開催計画書等受理数

集合研修	15,010件 (18,053件)
実習研修	393件 ( 461件)
グループ研修	1,958件 ( 2,179件)
自己研修	2,759件 ( 1,917件)
インターネット研修	88件 ( 84件)

## 認定実務実習指導薬剤師養成講習会

講座①	78件
講座②	77件
講座③	77件
講座④	75件

## 3 研修会開催

## 1) 座学（講義）形式による研修会

## (1) 病態・薬理シリーズ研修

① 血液がん（東京、大阪）（令和元年度前期）	378名
② 國際感染症Ⅱ（東京、大阪）（令和元年度後期）	204名

## (2) 企業薬剤師対象研修会

① 医薬品承認申請実務担当者研修会（東京、大阪）	876名
② GLP研修会（東京、大阪）	584名
③ GCP/GPSP研修会（東京、大阪）	1,145名

## (3) 漢方薬・生薬研修（東京）

113名

## 2) DVD集合研修、CD自己研修

(1) 漢方薬・生薬研修（令和元年度収録）（東京、大阪、福岡）	78名
(2) 新カリキュラム対応研修（自己研修CD（改訂版）による研修）	16名

## 3) ビデオ・オン・デマンド（VOD）研修

## (1) 病態・薬理シリーズ研修

① 大腸がん（平成27年度前期収録）	6名
② 虚血性心疾患（平成27年度後期収録）	7名
③ 乳がん（平成28年度前期収録）	4名
④ 心不全（平成28年度後期収録）	4名
⑤ 前立腺がん（平成29年前期収録）	6名
⑥ 高血圧症（平成29年後期収録）	7名
⑦ 肺がん（平成30年度前期収録）	15名
⑧ 國際感染症Ⅰ（平成30年度後期収録）	18名
⑨ 血液がん（令和元年度前期収録）	9名
⑩ 國際感染症Ⅱ（令和元年度後期収録）	4名

## (2) 一般用医薬品研修

対象研修会なし

## (3) 平成30年度登録販売者のための一般用医薬品基礎知識研修会

8名

## (4) 医薬品の適正使用のための情報の収集・評価、共有化に関する研修

4名

## 4) e-ラーニング

## (1) 病態・薬理シリーズ研修

① 大腸がん（平成27年度前期収録）	106名
② 虚血性心疾患（平成27年度後期収録）	70名
③ 乳がん（平成28年度前期収録）	101名
④ 心不全（平成28年度後期収録）	150名
⑤ 前立腺がん（平成29年前期収録）	88名
⑥ 高血圧症（平成29年後期収録）	180名
⑦ 肺がん（平成30年度前期収録）	149名
⑧ 國際感染症Ⅰ（平成30年度後期収録）	203名
⑨ 血液がん（令和元年度前期収録）	131名

(10) 国際感染症Ⅱ（令和元年度後期収録）	47名
(2) 一般用医薬品研修	対象研修会なし
(3) 平成30年度登録販売者のための一般用医薬品基礎知識研修会	133名
(4) 医薬品の適正使用のための情報の収集・評価、共有化に関する研修	70名
(5) 漢方薬・生薬研修	
① 漢方薬・生薬薬剤師講座26（平成30年度の更新者向け版）	856名
② 令和元年度漢方薬・生薬研修	501名
(6) 小児薬物療法研修	216名
5) 実習研修	
(1) 1日薬局・病院実務研修	1名
研修受入施設登録数	
病院 116施設	
薬局 60施設	
(2) 薬用植物園実習（初回認定対象者を除く。）	339名
実習実施施設：全国薬科大学、公的機関植物園、企業植物園など約50か所	
(3) 小児薬物療法1日実務研修	175名
研修受入施設登録数	
19施設	
6) 健康サポート薬局研修（修了証交付）	3,982名
(平成28年度からの累計11,337名)	

#### 4 委員会

- (1) 研修認定制度委員会（1回）
  - 令和元年10月30日(水)
- (2) 漢方薬・生薬研修委員会（2回）
  - 令和元年7月12日(金)
  - 令和元年9月22日(日)
- (3) 小児薬物療法研修委員会（1回）
  - 令和2年1月20日(月)
- (4) 小児薬物療法研修委員会試験問題作成委員会（2回）
  - 令和元年12月9日(月)
  - 令和2年1月20日(月)
- (5) 認定実務実習指導薬剤師認定委員会（1回）
  - 令和元年10月25日(金)
- (6) 薬剤師生涯学習達成度確認試験運営協議会（1回）
  - 令和元年9月2日(月)
- (7) 薬剤師生涯学習達成度確認試験実務委員会（2回）
  - 令和元年7月3日(水)
  - 令和元年9月2日(月)

#### 5 広報

- (1) 「研修センターニュース」の発行（毎月約3,800部）
- (2) インターネットホームページによる事業の紹介
- (3) メールマガジン配信（毎月約33,000件）

#### II 出版・監修関係

- (1) 研修手帳発行数 (合計) 65,295冊

販売分	10,456冊
更新分	44,655冊
新卒者贈呈分	10,184冊
(2) 病態・薬理シリーズテキスト頒布数	(合計) 729冊
大腸がん112冊、虚血性心疾患75冊、乳がん106冊、心不全154冊、前立腺がん94冊、高血圧症188冊	
(3) 編集書籍	
医薬品承認申請ガイドブック2019-20（令和元年12月編集（株）薬事日報社発行）	
医薬品・医療機器・再生医療等製品GLPガイドブック2019（令和元年9月編集（株）薬事日報社発行）	
医薬品・医療機器・再生医療等製品GCP/GPSPガイドブック2019（令和元年4月編集（株）薬事日報社発行）	
第十七改正日本薬局方医薬品情報 JP DI 2016（平成28年4月編集（株）じほう発行）第4刷発行（令和元年8月）、第5刷発行（令和2年2月）	
(4) 受託作成事業	
申込数 0件	
(5) 特別賛助会員が実施する研修会の監修	
監修申請件数 0件	

### III 法人関係

#### 1 理事会、評議員会

(理事会)

令和元年6月6日(木) 令和元年度第1回理事会

- (1) 平成30年度事業報告
- (2) 平成30年度決算
- (3) 薬剤師研修支援システム拡充費用積立預金に係る代表理事が定める平成30年度の積立額の確定
- (4) 内閣府提出資料（事業報告等に係る提出書）
- (5) 定款の一部改正案
- (6) 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正案
- (7) 就業規則の一部改正
- (8) 研修認定薬剤師制度に係る電子化計画
- (9) 評議員会の開催並びに理事及び監事の選任候補者
- (10) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況（報告）
- (11) 研修認定薬剤師制度実施要領及び同実施細則の改正（報告）
- (12) 研修受講シールにかかる不正防止策（報告）
- (13) 認定薬剤師の認定状況（報告）

令和元年6月 令和元年度臨時理事会（決議の省略方式による）

- (1) 理事の職務権限規程の一部改正
- (2) 代表理事（理事長）の選定
- (3) 代表理事（副理事長）の選定
- (4) 業務執行理事の選定
- (5) 役員手当の額の決定等
- (6) 委員会設置規程の制定

令和2年1月 令和元年度臨時理事会（決議の省略方式による）

認証更新申請書の提出

令和2年3月17日(火) 令和元年度第2回理事会

- (1) 令和2年度事業計画
- (2) 令和2年度収支予算

- (3) 特定費用準備資金の新たな設定
- (4) 就業規則の特例等
- (5) 職員給与規程の一部改正
- (6) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況（報告）
- (7) 研修認定薬剤師制度実施要領及び同細則の改正（報告）
- (8) 認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領の改正（報告）
- (9) 電子化の状況（報告）
- (10) 認定薬剤師の認定状況等（報告）
- (11) 新型コロナウイルスの感染拡大防止措置に係る対応（報告）

## (評議員会)

令和元年6月25日(火) 令和元年度第1回評議員会

- (1) 平成30年度決算
- (2) 定款の一部改正
- (3) 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正
- (4) 理事及び監事の選任
- (5) 平成30年度事業報告（報告）
- (6) 研修認定薬剤師制度に係る電子化計画（報告）
- (7) 研修受講シールにかかる不正防止策（報告）
- (8) 認定薬剤師の認定状況（報告）

## 2 賛助会員

令和2年3月31日現在

賛助会員（個人）	385名（392名）
特別賛助会員（企業等）	34団体（37団体）

## 特別賛助会員一覧（五十音順）

EAファーマ株式会社	全薬工業株式会社
あすか製薬株式会社	大正製薬株式会社
アステラス製薬株式会社	大日本住友製薬株式会社
イーエヌ大塚製薬株式会社	田辺三菱製薬株式会社
一般社団法人医薬総合研究会	株式会社ツムラ
株式会社MDPS	一般財団法人日本医薬情報センター
大塚製薬株式会社	一般社団法人日本女性薬剤師会
グラクソ・スミスクライン株式会社	公益社団法人日本薬剤師会
クラフト株式会社	有限会社ビックロコ
クレコンリサーチアンドコンサルティング株式会社	株式会社ファーマシイ
興和株式会社	藤本製薬株式会社
小太郎漢方製薬株式会社	富士フィルム富山化学株式会社
佐藤製薬株式会社	学校法人北陸大学 薬学部
三栄源エフ・エフ・アイ株式会社	株式会社メディセオ
株式会社じほう	株式会社薬事日報社
公益財団法人杉浦記念財団	ヤンセンファーマ株式会社
株式会社スズケン	湧永製薬株式会社

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	95,405,035	97,085,183	△1,680,148
未収金	60,924,579	26,673,313	34,251,266
前払金	3,521,582	3,313,571	208,011
棚卸資産	3,145,470	2,951,594	193,876
貯蔵品	1,819,330	6,911,732	△5,092,402
流動資産合計	164,815,996	136,935,393	27,880,603
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	188,225,737	188,225,737	0
投資有価証券	451,128,000	451,128,000	0
基本財産合計	639,353,737	639,353,737	0
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	65,985,041	60,534,127	5,450,914
薬剤師研修・認定電子システム整備費用積立預金	200,000,000	0	200,000,000
事務所移転等費用積立預金	346,073,000	306,073,000	40,000,000
薬剤師研修支援システム拡充費積立預金	225,000,000	225,000,000	0
特定資産合計	837,058,041	591,607,127	245,450,914
(3) その他固定資産			
建物附属設備	999,757	1,202,791	△203,034
什器備品	1,048,234	172,817	875,417
ソフトウエア	54,957,191	40,613,401	14,343,790
電話加入権	518,336	518,336	0
敷金	20,647,008	20,647,008	0
その他固定資産合計	78,170,526	63,154,353	15,016,173
固定資産合計	1,554,582,304	1,294,115,217	260,467,087
資産合計	1,719,398,300	1,431,050,610	288,347,690
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	154,840,506	59,693,482	95,147,024
前受金	17,163,300	25,298,280	△8,134,980
預り金	431,761	1,387,300	△955,539
仮受金	0	0	0
未払法人税等	5,936,400	4,661,500	1,274,900
未払消費税等	19,154,400	234,400	18,920,000
流動負債合計	197,526,367	91,274,962	106,251,405
2. 固定負債			
退職給付引当金	65,985,041	60,534,127	5,450,914
固定負債合計	65,985,041	60,534,127	5,450,914
負債合計	263,511,408	151,809,089	111,702,319
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産合計	479,050,000	479,050,000	0
(うち基本財産への充当額)	(479,050,000)	(479,050,000)	0
2. 一般正味財産	976,836,892	800,191,521	176,645,371
(うち基本財産への充当額)	(160,303,737)	(160,303,737)	0
(うち特定資産への充当額)	(771,073,000)	(531,073,000)	(240,000,000)
正味財産合計	1,455,886,892	1,279,241,521	176,645,371
負債及び正味財産合計	1,719,398,300	1,431,050,610	288,347,690

## 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益 基本財産受取利息	[4,418,827] 4,418,827	[4,418,804] 4,418,804	[23] 23
② 特定資産運用益 特定資産受取利息	[57,305] 57,305	[49,695] 49,695	[7,610] 7,610
③ 受取会費 賛助会員受取会費	[7,680,000] 7,680,000	[7,730,800] 7,730,800	[△50,800] △50,800
④ 受取寄附金 受取寄附金	[500,000] 500,000	[500,000] 500,000	[0] 0
⑤ 事業収益 認定事業収益 研修手帳収益 研修事業収益 テキスト収益 研修会開催申請 出版事業収益 図書編集監修料 受託事業収益	[841,265,613] 662,115,823 29,562,116 74,172,965 25,397,901 42,977,338 7,039,470 0 0	[470,550,030] 326,202,695 17,127,508 80,010,892 24,986,058 15,129,733 7,093,144 0 0	[370,715,583] 335,913,128 12,434,608 △5,837,927 411,843 27,847,605 △53,674 0 0
⑥ 雜収益	[3,257]	[10,027,438]	[△10,024,181]
経常収益計	853,925,002	493,276,767	360,648,235
(2) 経常費用			
① 事業費 役員報酬 職員給与 通勤手当 福利厚生費 賃金雇用費 退職給付費用 旅費交通費 通信運搬費 減価償却費 印刷製本費 諸謝金 会議費 事務所費 事務費 業務委託費 諸雑費 ソフトウエア償却費 貯蔵品期首在高 期首貯蔵品廃棄額 貯蔵品期末在高 期首棚卸資産廃棄額 棚卸資産期首在高 棚卸資産期末在高	[652,663,129] 3,499,920 99,832,114 3,302,307 17,603,541 35,105,539 5,348,904 7,307,003 43,550,996 735,050 55,698,732 8,077,681 7,967,532 26,831,216 117,654,508 200,595,030 0 14,654,530 4,620,010 2,291,722 △1,819,330 0 2,951,594 △3,145,470 [18,680,102] 10,610,080 1,508,222 140,423 658,097 102,010 486,073 156,196 38,687 692,064 409,795 1,412,170 2,419,785 0 46,500	[418,311,569] 2,880,000 95,731,124 3,169,691 16,102,355 19,818,059 4,581,476 7,340,879 20,322,800 269,619 31,602,061 8,418,218 8,625,662 26,570,481 77,254,145 86,075,390 0 9,891,292 5,471,725 435,672 △6,911,732 0 3,614,246 △2,951,594 [18,012,383] 7,637,424 5,392,629 226,721 587,840 22,538 289,580 122,323 14,190 0 0 0 1,398,447 2,320,691 0 0	[234,351,560] 619,920 4,100,990 132,616 1,501,186 15,287,480 767,428 △33,876 23,228,196 465,431 24,096,671 △340,537 △658,130 260,735 40,400,363 114,519,640 0 4,763,238 △851,715 1,856,050 5,092,402 △662,652 △193,876 [667,719] 2,972,656 △3,884,407 △86,298 70,257 79,472 196,493 33,873 24,497 692,064 409,795 13,723 99,094 0 46,500
経常費用計	671,343,231	436,323,952	235,019,279
当期経常増減額	182,581,771	56,952,815	125,628,956
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[0]	[0]	[0]
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
経常外費用 過年度振替修正	0 0	0 0	0 0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	[0]	[0]	[0]
税引前当期一般正味財産増減額	182,581,771	56,952,815	125,628,956
法人税、住民税及び事業税	5,936,400	4,661,500	1,274,900
当期一般正味財産増減額	176,645,371	52,291,315	124,354,056
一般正味財産期首残高	800,191,521	747,900,206	52,291,315
一般正味財産期末残高	976,836,892	800,191,521	176,645,371
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	479,050,000	479,050,000	0
指定正味財産期首残高	479,050,000	479,050,000	0
指定正味財産期末残高	1,455,886,892	1,279,241,521	176,645,371
III 正味財産期末残高			

## 新規加入賛助会員のご紹介

神頭 利光（東京都） 戸井 一郎（滋賀県）  
(敬称略)

研修認定薬剤師数	106,668名	認定実務実習指導薬剤師数	26,335名	小児薬物療法認定薬剤師数	725名
漢方薬・生薬認定薬剤師数	3,364名	個人賛助会員数	374名	特別賛助会員数	33社

令和2年8月末日現在

※なお、各都道府県別認定薬剤師の氏名は当財団ホームページに掲載しています（3か月毎に更新しています）。

### 研修認定薬剤師制度 集合研修対象 インターネット研修

当財団では平成14年6月より、インターネット研修を研修形態の1つとして取り入れました。このインターネットによる研修は、当財団に登録されたインターネット研修実施機関が行います。90分の講義に対して1単位の受講シールを発行いたします。当財団ホームページからも参加できますので是非ご活用下さい！

※インターネット研修は、当財団が認めたテストまたはアンケート等を含めた所定の課程に則って行います。

研修会名称	実施機関
インターネット薬剤師生涯教育講座	ファーマストリーム ( <a href="http://www.pharmastream.net">http://www.pharmastream.net</a> )
メディカルナレッジ	医療教育研究所 ( <a href="https://www.medical-knowledge.net/">https://www.medical-knowledge.net/</a> )
薬剤師のためのe-ラーニング	MPラーニング ( <a href="https://www.mp-learning.com/">https://www.mp-learning.com/</a> )
副作用診断教育プログラム	徳島文理大学香川薬学部 ( <a href="https://kp.manabinaoshi.jp/">https://kp.manabinaoshi.jp/</a> )
地域包括ケアを担う薬局薬剤師の為のインターネット研修	杉浦記念財団 ( <a href="http://sugi-zaidan.jp/iseminar_new/index.html">http://sugi-zaidan.jp/iseminar_new/index.html</a> )
かかりつけ薬剤師.com	医歯薬アドバンス365 ( <a href="http://www.xn--u8jas9esjy31r9hrrh6e.com/">http://www.xn--u8jas9esjy31r9hrrh6e.com/</a> )
AMEE薬剤師生涯学習プログラム	医薬教育倫理協会 ( <a href="https://pllp.amee.or.jp/">https://pllp.amee.or.jp/</a> )
「サプネット」かかりつけ薬剤師の為のサプリメント・健康食品動画研修プログラム	NHPインターナショナル認定機構 ( <a href="http://sapnet.jp/">http://sapnet.jp/</a> )